

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年7月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100708
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム 清滝
所在地	鹿児島県鹿児島市西千石町13番30号 (電話) 099-213-9950
自己評価作成日	平成29年5月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年6月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 尊厳を持ってごのらしい暮らしができるようにお手伝いします。
- ゆったりと暮らせる環境を一緒に作って行きます。
- 地域の一員としての橋渡しを行います。を基本理念に掲げ
 - ・ ご利用者、ご家族との関係性を大切にしている。行事もご家族参加型の行事に取り組み、家族会を開催してご利用者との関係性を大切にしている。行事もご家族参加型の行事に取り組み、家族会を開催してご利用者の日々の暮らしを知って頂いたり、ご要望や相談しやすい環境作りに取り組んでいる。
 - ・ 鹿児島市の中心に位置し交通の便にも恵まれているため、おはら祭りやハンヤ、地域小学校での行事など外出しやすい環境である。行事なども事業内(通所介護事業所やサービス付高齢者専用賃貸住宅)と合同での行事やレクリエーションなどの交流を行っている。・ 沖野循環器科病院が併設であり、定期的受診や緊急時でも対応ができ安心して生活ができるように支援している。
 - ・ 外部研修に参加したり、内部研修開催し年間計画を立ててケアの質向上に向けて努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ 当ホームは、10階建てビルの6～7階にあり、サービス付き高齢者住宅やデイサービスが併設されている。合同での行事実施による利用者間の交流が行われている。
- ・ 母体医療機関が併設されており、夜間・緊急時等を含め24時間の医療連携体制が整っている。利用者・家族及び職員の医療面における安心となっている。
- ・ 地域の祭りや小学校の運動会・廃品回収に参加する等、地域との交流に取り組んでいる。
- ・ 代表者・管理者はケアの質の向上の為、職員の研修受講や資格取得を支援し、利用者の自立支援に主眼を置き、本人ができないところを補うケアを心がけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を共有し、理念に元づいた支援を行えるよう、各階に掲示し、また、年に1回は理念の勉強会も行っている。	理念を玄関に掲示し、パンフレットにも記載して共有化を図っている。年1回は理念の勉強会を実施し、ケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の催しもの（おはら祭りなど）や馴染みのあるお店、地域の小学校などにも行き、地域との馴染みの関係、つながりのある暮らしになるように支援している。	自治会に加入し、地域の一員としておはら祭り等に参加したり、小学校の資源回収に協力している。ホームの行事に住民がボランティアで参加したり、地域の市場で買い物をする等、積極的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーター事業所の登録をしており、また運営推進会議等にて認知症への理解や事業所での取り組みを報告し、地域の人々に向けての取り組みも行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、利用状況の報告、事故報告、研修報告等を行い、事故の再発防止、対策等の意見も頂き、サービス向上に活かす事が出来ている。参加者からの意見も多く頂いている。	定期的開催し、ホームの状況報告及び意見交換を実施しており、過去の災害状況を災害対策に活かしたり、地域情報を外出行事の参考にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事故報告や、空床報告等の定期的な報告以外にも不明な点や新しい取り組みをする際に報告、確認を行い、市町村との連携、協力関係を気づくように取り組んでいる。	直接市に報告や相談で出向いて、担当者と連携を図っている。介護相談員の受け入れを毎年実施し、市の研修会にも参加して情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年間の勉強会に必ず組み込み、また、新入職員への随時の指導、日頃からの職員同士での意見交換も行い、身体拘束をしないケアを念頭に行っている。またご家族様へも理解して頂けるようにケアの報告を行っている。	マニュアルを作成しており、年1回の研修会及び新人の研修を実施している。毎月のカンファレンスで検討したり、言葉遣いはその都度注意し合って身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中、玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には、職員が付き添って出かけたりして支援を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と同様、年間の勉強会に必ず組み込み、虐待の種類、また日頃のケアからも虐待につながるような言動、行為はないか常に観察、緊張感を持ち、ケアにあたるよう指導、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護についての知識、理解を持ち、成年後見制度についても職員にしっかりとした考えや理解を深めるように指導していく必要はある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、解約、利用終了の際は文面にての説明、同意を頂き、また重要事項や改定の際は文面にて十分な理解、納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>要望や意見、意見の言いやすい環境作りを目指しており、介護支援計画の説明以外でも、日常の面会等、利用者様の報告はこまめに行うようにし、頂いたご意見への結果もしっかり報告を行い、運営に反映するようにしている。</p>	<p>利用者の意見等は、日常の会話の中から把握したり、介護相談員との面談の機会を設けている。家族からは家族会や運営推進会議で意見を聞いたり、面会時に要望等を聞いている。ホーム行事の際に、「家族にも行事のお手伝いをさせて欲しい」との申し出があり、意見を運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回開催の職員会議での報告会だけでなく、毎月行っている、勉強会やカンファレンスを行い、意見の出しやすい、また早めの意見に対する対応ができて、反映されるように心がけている。</p>	<p>毎月の職員会議やカンファレンス・勉強会等で、職員の意見を聞いている。排泄状況確認の為に工夫や申し送りノートの活用等でケアに活かしている。個別相談は日常的に管理者が受けて適切にアドバイスをを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の実績、勤務状況の報告を代表者に行い、また意見がでた際は代表者へ報告、相談を行い、また外部研修へも積極的に参加するよう、研修案内を掲示し、向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内の掲示にて積極的なケア、また自己研鑽を行うように代表者からも指導あり、反映し、ケアにつなげられるように職員への周知、意欲向上につながるよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他グループホームさんとも交流を持たせて頂いたり、グループホーム協会への加入の検討、運営推進会議や研修を通じてサービスの質の向上をさせていく取り組みを努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを使用して頂く前に、本人様、ご家族様からも不安な事や要望がないかお聞きし、また環境変化による本人様への負担を考慮しながら関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からサービス利用にあたり、施設に対しての要望、不安、すこしでも軽減できるように細かな聞き取り、対応にて関係作りに努めている。また契約時でも相談、苦情の窓口をしっかりと説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	定期的な介護計画の説明の時だけでなく、普段の面会時においても、要望がなかなか聞かれない方に対しても細かな報告、説明を行い、要望、不安等お聞きし、早めの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の生活の場が、グループホームである事を念頭に利用者様主体の生活、また自立支援に向けた支援の関係に気を付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の入所に至るまでの背景、環境、生活歴を元に、ご家族様が一番の理解者、協力者である事を念頭に、不安のない説明、報告を行い、本人様の支援を心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の使い慣れた物、環境、馴染みの関係を元に面会も受け入れを行い、仕事をされていた時の関係者の方なども面会される事で本人様からの喜びの声も聞かれている。継続していきたい。	安心して生活できるよう、身近な使い慣れた物等を持参してもらったり、馴染みの理美容院や店の利用・菓子の嗜好品も家族の協力を得ながら支援している。温泉仲間の友人が面会に来たり一緒に出かけたりしている。馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知症状や、本人様の性格等により、ご自分からなかなか発言が無い方に関しても、職員が介入し、本人様がさびしくないように、また趣味や楽しみ等も御ご家族に聞いたりし、支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族様からお手紙をいただいたり、お電話やホームに立ち寄って下さり、お声を掛けて頂く事が多い。今後も関係性を大切に本人様、ご家族様の支援を行っていききたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の思いを聞き、暮らしの希望（本人様が大切に思っている事、望んでいること、面会等）に沿えるようにご家族様にも協力を頂きながら検討を行っており、部屋の細かな配置等にも考慮している。	利用者との会話を通して、顔色や表情・仕草・態度を見ながら思いや意向の把握に努め、申し送りノートで職員で話し合っている。困難な場合は家族の意見等を聞きながら、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様が入所に至るまでの背景や人間関係、思いをしっかりとアセスメント、概況、課題分析にて反映し、入所後の環境変化や不安が少しでも軽減し、心地いいと思える環境作りに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の身体状況、服薬における副作用、認知症状を職員全員が共有し、統一した自立支援を心がけている。そのためにもプランの見直しだけでなく、こまめなカンファレンスを行い、意見交換を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各職種（医師、看護、リハビリ等）、連携を持ち、本人様の思いに沿った計画を心がけ、職種間でも細かな情報共有、意見交換を行っている。定期的な受診以外でも主治医へ本人様の思いが伝わるように相談状態報告し、連携を心がけている。	利用者が安心して暮らせるように、家族・職員・医師・看護師等の必要な関係者で話し合いを行い、介護計画を作成している。見直しは6ヶ月毎及び状況変化等の必要時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員へも普段の細かな記録、情報共有の大切さを指導し、共有の記録（バイタルチェック、排泄チェック、業務日誌、申し送りノートなど）も多く作っている。また、支援がその場だけでなく、しっかりと継続するように、その後の観察、随時意見交換も行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時に本人様、ご家族様の相談、苦情、不安に対し、早期解決できるように、多方面の知識を私達も持ち、提案できるように事業所外でも市役所、連携を取らせて頂いている同じグループホームなど随時相談を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人様の安全と豊かな暮らしができるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所される前でのかかりつけ医等も聞き取りを行い、本人、御ご家族の要望に沿った医療が受けられるように支援を行っている。皮膚科、耳鼻科、精神科、歯科等の往診を利用されている利用者様も多い。	かかりつけ医は、契約時に、利用者や家族が希望する医療が受けられるように支援している。受診は職員が同行しており、他科受診は往診や家族の同行で対応し、訪問看護師による健康管理も行っている。緊急時は母体医療機関との協力体制が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な受診以外でも普段の細か変化、特変の観察を行い、又、その後の経過も主治医、外来看護師に行っている。また、不安に思う事や、相談等も気軽に相談できる環境である。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時における連携の情報共有、経過報告も細かに行うよう心掛けている。かかりつけ以外での医療機関入院の際も定期的な相談員との連携、面会、プランの変更を行い、また退院時も受け入れがスムーズにいくよう日程調整など、ご家族様とも連携し努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の看取り介護については、契約時に説明し、同意を頂いているが終末期と医師が判断した際、再度、説明し、グループホームでできる事や方針の説明、連携部署を一緒になって支援をさせて頂いている。	契約時に重度化等の場合のホームの対応について説明し同意を得ている。状況変化時に再度説明し、家族の意向を確認している。家族の意向に沿ってチームで支援に取り組んでおり、看取りの事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	グループホームにおけるマニュアル、緊急時のマニュアル緊急連絡を書庫に常備し、また、定期的な勉強会にて見直し、確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練（夜間、日勤帯の想定）を行い、緊急時の対応、避難方法を職員が対応できるようにしている。また非常食（水、カップめん）の備蓄を常備している。</p>	<p>消防署の協力を得て、併設母体医療機関を始め法人全体で年2回昼夜想定避難訓練を実施している。運営推進会議で住民の参加協力を要請している。非常用の備蓄は水・カップ麺を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	集団生活であるものの、お一人お一人の生活を重視し、お部屋への入室など特にプライバシー保護には気を付け尊重した言葉かけにて対応を行っている。	排泄介助時のさり気ない声かけや誘導、入室時はノックをして了解を得てから入室する等、日頃から実践している。一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が自己決定できるように日常生活の中でも普段着の選択、食事の食べたい物、レクリエーションも色塗りや計算問題、折り紙の選択、日光浴など本人様の意欲や決定を大切に言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様の気持ちを優先にし、入浴介助やレクリエーションの参加、お部屋での過ごし方等希望に沿い、また外出等も散歩など職員付添いにて可能な際は行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人様の好みに応じて、普段着、色、入浴準備等自己決定を行って頂いている。季節感や重ね着等は職員にて確認を行い、本人様が気分を害さないようなお声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事でも行事食や旬の物を取り入れ、彩り良くし、食べやすい重視ではなく、楽しみ、喜びの一環をして提供を行っている。またダイニングキッチンのため、調理も目で見れて、匂いも分かりやすい仕組みになっている。	季節の食材を使って利用者の状況に合わせて彩や形態にも配慮している。片付け・準備を利用者と職員は一緒に行い、会話を楽しみながら食事をしている。誕生日食や行事食・外食等を取り入れ、食事が楽しみになるように取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じたカロリーや、水分制限、塩分制限の対応を行い、また、病院の栄養士にも相談席する環境である。脱水等には特に注意し、飲んで頂く工夫も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立支援を行いながら、口腔ケア時、麻痺側の確認、舌ブラシの活用、嚥下困難な方への口腔拭き取り等の支援を個別に行っている。又、口腔内の痛み等には往診を頼み、支援して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄援助も自立支援を目標に、排泄チェックを行いながら、個々の排泄パターンの確認、夜間、排泄状況、排尿排便の確認を行い、状態の早期発見に努めている。利用者からもトイレに座って出るのが一番気持ちがいいよねとのお言葉もある。	排泄の自立を目標に、チェック表を使って利用者のパターンを把握し、トイレでの排泄に取り組んでいる。オムツからリハビリパンツ・布パンツへと、排泄の自立に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便に向けた取り組みとして、定期薬、下剤調整での管理もしているが、運動、水分、食事の観点にも着目し支援を行っている。食事も繊維物を取り入れた提供を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週に3回となっているが、本人様の気持ちも考慮し、強制的にならないように心がけている。また、状況に応じて、対応する職員も変えたり、ボディークリームも好みに合わせて選んだりしている。	週3回午前中の中の入浴を基本にしており、本人の状況に合わせて声かけや対応を行っている。本人の好みや皮膚の状態を考慮した入浴剤を使用して楽しんでいる。汚染時は隣接のトイレやシャワー浴で対応している。入浴を嫌がる利用者には場面や職員を替えたりして入浴を楽しむ事ができるように支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	在宅時での休まれるタイミングや居室の明かりの具合等、個々に応じて安全を優先するのではなく、本人が気持ちよく休んで頂く環境を作れるよう支援している。夜間時の入室時も気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情報をファイルし、職員も個々の服用内容、副作用の確認を行うよう努めている。また薬局の方にも分からない時は相談し、援助して頂いている。薬変更時もしっかり確認を行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴の中で、仕事とされていた事、趣味とされていた事などを聞き、個別に支援できるように努めている。お花、計算問題、雑巾縫い、イリコの頭取り、もやしの芽取り など。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族にも協力を頂きながら、近くの公園への散歩、買い物、花火大会、お墓詣り、外出の支援を行っている。本人様からも喜びの声が聴かれている。	近くの公園や川沿いの散歩を日常的に実施している。年間計画で季節の花見やそうめん流し・おはら祭り等に出かけている。家族と外食や墓参り等の外出や外泊をする利用者もいる。できるだけ外出できるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金の管理はご家族様や施設であるが、個人的にお持ちになられている利用者もいらっしゃる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者の中には携帯電話をも立っている方もいらっしゃる、またご家族が遠方にてなかなか面会が困難な方は電話にて近況報告を行い、その際に本人様ともお話し頂く事で、ご家族も本人からも喜びのお言葉を頂いて折る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は特に個人の空間であるため、プライバシーに注意し、職員主体にならない、本人様にとっての心地いい環境で過ごしていただけるよう支援を行っている。季節に応じて壁紙を替えたり、一緒に作ったりしている。	リビングは窓からの採光が十分に室温等の室内環境が適度に調節されており、一角にあるキッチンの調理の様子も見るができる。手作りの壁飾りで季節を感じ、居心地良く過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人様の思いを尊重し、日常生活やレクリエーション等も強制せず、プライベートの時間も大切にしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が在宅にて使い慣れた物や、親しんだ物をご家族からお聞きし、居心地の良い環境、配置も工夫して支援を行っている。	電動ベッド・タンス・洗面台を備えた居室に、必要に応じてテレビ・仏壇・湯飲みセット・机やいす・ぬいぐるみ・写真等、家族とも相談しながら、本人の好みに合わせた家具の配置にする等の工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援や自己決定を大切にし、安全な環境作りや配置に気を付け支援を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない